

西中の風

～ 凡事徹底 ～

伊丹市立西中学校

校長 阪本 直美

令和8年度 全国学力・学習状況調査等の結果をお知らせします。

令和8年4月23日（木）、3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。本校の結果が文部科学省より返ってまいりましたのでお知らせいたします。

なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

「全国学力・学習状況調査」は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されるもので、国語・数学（小学校は算数）と今年は英語を加えた「教科に関する調査」（※学力に関する調査）3教科と「学習意欲や学習方法、生活の諸側面等に関する質問紙調査」（※学習状況に関する調査）が行われました。国語・数学は冊子を用いた筆記方式で、英語はICT端末等を用いた文部科学省CBTシステムによるCBT方式で実施されました。

「教科に関する調査」においては、身につけておかなければ、今後の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また知識・技能等を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力が一体的に問われています。

本校における学力に関する調査の国語・数学の平均正答率は国語が67%（全国63.9）、数学は66%（全国57.0）、平均IRTスコアは英語：3技能540（全国499）でした。全国平均値を一つの指標とすると調査のあったすべての教科で全国の平均正答率・IRTスコアを大きく上回っていることから、学習が概ね定着しているものと考えています。



また、問題形式が選択式・短答式は無解答率が高い問題もありましたが、記述式は正答率が高い問題が多く、説明や証明する力も概ね定着していると考えられます。

「学習状況に関する調査」の結果においては、「朝食を毎日食べている」・「人の役に立つ人間になりたいと思う」・「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」・「普段1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか（30分以上）」・「ICT機器を使って情報を整理することができる」・「数学の勉強は好きだ」などの項目は、肯定的な割合が全国平均と比べ上回っています。

一方、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」・「毎日同じくらいの時刻に起きている」・「自分には良いところがあると思う」・「将来の夢や目標を持っている」等、生活習慣や自尊感情等を問う質問では全国平均を下回る結果となりました。さらに、今回調査を実施した国語や数学の関心を問う質問の「国語の勉強は好きだ」や「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」についても全国平均を下回りました。

自ら進んで学習することや読書活動、ICT の活用など、個別の学習に対しては主体的に取り組めていることから、今後も協働的・探究的な学びがある授業づくりの実践により、子ども達の主体性や学習の充実を図るとともに、学校行事や委員会活動等、教育活動全体を通して豊かな心の育成に取り組んでまいります。

3年生の生徒のみなさんには学級担任の先生から個人票が配られています。結果を踏まえ、今後の学習に活用してください。

☆科学研究部の生徒が、玄関に展示してくれました。

体育館裏の池で飼育しているメダカです。

「そっとのぞいて楽しんでください →→→

科学研究部より」

